

# 《東御市》 東御市社会福祉協議会ボランティアセンター

## 〔センターの基本事項〕

所在地	〒389-0502 東御市鞍掛197 総合福祉センター内			
電話 F A X	0268-62-4455	0268-64-5695		
電子メール	<a href="mailto:info@tomisyakyo.or.jp">info@tomisyakyo.or.jp</a>			
HPアドレス	<a href="http://www.tomisyakyo.or.jp/hohoemi/hohoemi">http://www.tomisyakyo.or.jp/hohoemi/hohoemi</a>			
職員数	正規	—	嘱託	—
	臨時	2名	その他	—
開所日と時間	平日 9:00～16:00 土日祝を除く			
情報誌	東御市社協報ほほえみ 隔月発行			
来所者数	年間 900名			

## 〔センターの運営方針・指針等〕

ボランティア活動を振興し、地域福祉の増進に資する活動を行う。

## 〔センターの拠点整備〕

活動場所の提供	<input type="radio"/>	無料、対象者：ボランティア活動者
フリースペースの設置	<input type="radio"/>	ボランティアルーム2室、湯沸かし室、情報コーナー、机、イス
資機材等の貸出	<input type="radio"/>	PC、リクレーション用具、ラジカセ、DVDプレイヤー、テレビ 無料、対象者：ボランティア
福祉体験器具等の貸出	<input type="radio"/>	車イス、アイマスク、点字練習器、ビデオ 無料、対象者：小中高学校
登録グループの専用ポストの設置	<input type="radio"/>	
情報掲示板・チラシ提供スペースの設置	<input type="radio"/>	

## 〔ボランティアセンター運営委員会〕

組織の有無	有	規約	有
名称	東御市ボランティアセンター運営委員会		
	平成16年10月1日、旧北御牧村社協と旧東部町社協の合併に伴い設立		
委員構成	ボランティア、福祉関係者、教育関係者及び学識経験者のうちから社協会長が委嘱した10名		
事業への関わり	ボランティアの啓発活動や交流活動の企画や運営		
工夫点	—		
課題点	—		

## 〔ボランティア連絡協議会〕

組織の有無	有	規約	有
名称	東御市ボランティア連絡協議会		
	昭和60年設立 個人ボランティアとして活動していた者同士が連携しボランティア連絡協議会となった。		
協議会構成	平成22年10月現在 49団体 5,347名		
工夫点	小中学校で行う福祉体験学習には積極的に地域のボランティアに参加、協力を促し、児童や生徒を地域で育てる環境づくりに心かけている。		
課題点	ボランティア活動者の高齢化と男性の活動の参加		

## 〔財源〕

人件費	独自財源	○	
	共同募金	—	
	委託料・補助金	○	市補助金
	民間助成金	—	
	その他	—	

事業費	独自財源	○	
	共同募金	○	
	委託料・補助金	○	
	民間助成金	—	
	その他	—	

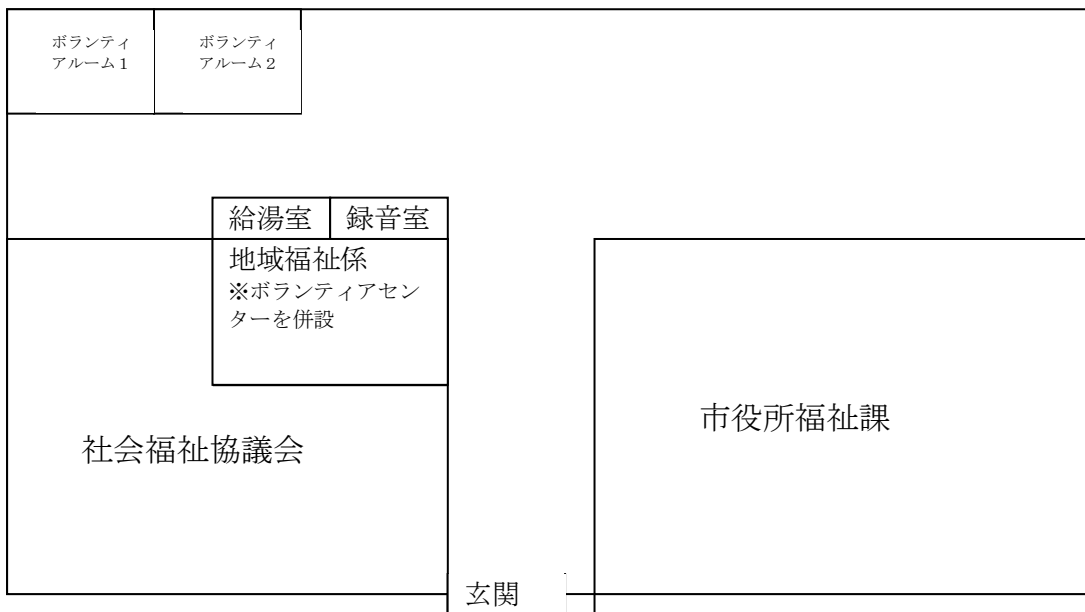


〔事業計画・センター運営等について〕

○事業計画について 毎年度の事業計画について、どのように計画を立案していますか？		担当部署・担当職員間で事業計画を立案している。
○センターにおける中長期計画について 独自の中長期計画・アクションプラン等を作成していますか？		—
○アドバイザー等について センターの運営や事業実施に関して、アドバイザー等の助言者はいますか？		—
○社協VC以外の中間支援機関について 社協が運営するVCとは別に、他団体が運営する中間支援機関が地域内にありますか？		—
○連携するNPOや関係機関について VCの事業・運営において連携・協働しているNPOや関係機関等がありますか？		
連携・協働先		連携・協働内容
NPO法人信州未来広場		ボランティアの啓発イベント等において、けん玉やお手玉教室等、昔遊びの伝承活動を実施
NPO法人根っこの会		ボランティアの啓発イベント等において、自然体験活動のプログラム等を実施
—		—
○センターの強みと弱みについて		
《強み》 学校だけでなく、地域の人たち（ボランティア・講師）をまきこみ作り上げる福祉教育を推進している。		《弱み》 企業や団塊の世代（男性）などボランティア活動の啓発

○VC見取り図

東御市総合福祉センター 1階



<p>○他市町村社協ボランティアセンターについて センター運営や事業実施に関して、他市町村社協VCに聞いてみたいことや知りたいことなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業とボランティアとの協働をする機会づくりについて</li> <li>・男性・若年層がボランティア活動へ参加をするきっかけづくり</li> </ul>
---

## ボランティアセンターの重点事業について

事業名	自然を楽しむ会
目的	ボランティア会員と障害を持つ人との交流を図るために開催する。
開催頻度	年一回
内容	自然活動体験の実施
対象者	市身体障害者福祉協会会員と東御市ボランティア連絡協議会員
企画のポイント 事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいを持つ方への理解が深まった。</li> </ul>
参加者の声や その後の動き など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のボランティア団体の活動が理解でき、自分たちの活動の参考になった。</li> </ul>

### 事業の様子



## ボランティアセンターの重点事業について

事業名	行政との懇談会
目的	ボランティアと行政機関との懇談会を通して協働のまちづくりを推進する具体的手法を探る。
開催頻度	年一回
内容	行政機関に対して、日頃のボランティア活動の実践の中で気づいた意見や要望等を提案して市長はじめ行政担当者から回答を頂く。
対象者	ボランティア連絡協議会員
企画のポイント 事業成果	ボランティアからの要望を行政機関に届けることで協働のまちづくりの意識化を図ることができた。
参加者の声や その後の動き など	施設改修、音訳サービスの事業化が実施され、活動しやすくなった。

### 事業の様子

